※令和４年度以降入学生用

学校番号	412

令和５年度　公民科

教科	グローバル	科目	グローバル公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　公共　　（第一学習社）						
副教材等	最新公共資料集 2023　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．予習・復習は自分で行うものです。「公共」という科目の特性上最新の社会情勢を中心に社会のしくみや問題点を論じていきますので，新聞やテレビなどのニュースには注視し，日常生活の中で身近になるようにメディアには触れていてください。

２．一般的に社会の授業では板書と口述による説明が流れるように行われますので，授業の本筋である板書事項の記述及び整理と口述による説明部分のメモ書きを上手に両立するノートの取り方を要求します。

３．授業に際しては，主体的に参加することを要求します。そのなかで理解できない事項や説明，聞き逃しによる事項などは積極的に授業を止めてください。それが他の人への学習効果のあがる質問になることが多分にありますので，とことん突き詰めて考えることにより，疑問点を見いだす授業の受け方を要求します。

２　学習の到達目標

世界的な視野から公共を理解し，地球規模の諸問題を考えていこうとする意欲・態度を育てる。また，現代世界における争点と日本の役割を，歴史的背景を踏まえて理解し，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養い，根拠ある判断に基づいた意見表明をする力を獲得させる。そのために新聞・図表･統計・ＤＶＤ・インターネット等を積極的に活用し，社会への関心を深めるとともに，それらを読み解く基礎力をつけ，レポート作成・ミニ討論等により自分の意見を形成し，それを表現する力の育成を図る。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　公共的な空間をつくる私たち	Ⅰ　公共的な空間と人間とのかかわり 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主･自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 Ⅱ　社会に参画する自立した主体として 1 伝統や文化とのかかわり	a:人生の中で青年期はどのような意味をもつのか，自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。また人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。 b:公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。また孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに，異文化などの他者との協働により，人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察，表現している。 c:公共的な空間をつくる私たちについて，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価
	第2章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方	Ⅰ　人間としてのあり方生き方についての探求 1 人間と社会のあり方についての見方・考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理 Ⅱ　選択･判断の手がかりとなる倫理的価値 1 公共的な空間を形成するための考え方 2 よりよく生きる行為者として活動するために	a:選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。また環境保護や生命倫理に関する事例をもとに，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに，行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 b:倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験などを通して，多面的・多角的に考察，表現している。 c:公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間としてのあり方生き方について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論

※令和４年度以降入学生用

1学期	第3章　公共的な空間における基本的原理	Ⅰ　自立した主体となることに向けて 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊重 3 民主政治の基本的原理 4 法の支配 5 自由･権利と責任･義務 Ⅱ　よりよい公共的な空間づくりをめざして 1 世界のおもな政治体制 2 日本国憲法に生きる基本的原理	a:各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。また人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 b:幸福，正義，公正などに着目して考えている。また公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 c:公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価
	主題1　法や規範の意義と役割	1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由・平等と法・規範 4 法をよりよく変えていくために	a:法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。また法には国家と国民の間を規律する公法や，私人間を規律する私法などがあること，法は刑罰などによって国民の行為を規制し社会の秩序を維持するだけではなく，国民の活動を積極的に促進し，紛争を解決するなど，日常生活に密接に関連していることを理解している。また基本的人権が保障されるにいたった経緯を，現実社会の諸課題に関わる諸資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b:法をよりよく変えていくために，自由権の意味や，社会権が私たちの生活をどのように変えたのか，新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。また幸福，正義，公正などに着目して考えている。 c:法や規範の意義と役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論

※令和４年度以降入学生用

1学期	主題２　契約と消費者の権利・責任	1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任	a:成年年齢が18歳以上となったことに対し，成年年齢の意味と成年の責任について理解している。契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。また現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b:他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。また自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:契約と消費者の権利・責任について，現代の諸課題を具体的な例をもとに，主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論
	主題３　司法参加の意義	1 裁判所と人権保障	a:国民の権利を守り，社会秩序を維持するために，公正な裁判が保障され，法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。また現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b:検察審査会や国民の司法参加の意義など，具体的な主題を設定し，その主題を追究・解決するために考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。また自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:司法参加の意義について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価

※令和４年度以降入学生用

2学期	主題4　政治参加と公正な世論の形成	1 選挙の意義と課題 2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉	a:政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。また選挙権年齢が18歳以上であることを踏まえ，選挙の意義や，政治的無関心の危険性などについて理解している。そして国会の地位と構成・権限，議院内閣制のしくみ，内閣総理大臣の権限，行政の民主化について，理解している。 b:選挙のしくみ，政党の役割，世論の形成について，さまざまな情報手段を活用して，考察，構想し，表現している。また地方自治には，直接民主制の考え方に基づくしくみが，国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ，地方自治の課題についても考察，構想し，表現している。 c:政治参加と公正な世論形成について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価
	主題5　国際社会と国家主権	1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題	a:国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。また現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b:国際法の意義と役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。また国際社会と国家主権について，国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するために，必要な情報を収集し，考察，構想している。そして国際連合などの国際機関の役割や課題について，国際平和の維持と安定のために広い視野に立って考察，構想したことを，論拠をもって表現している。 c:国際社会と国家主権について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価

※令和４年度以降入学生用

2学期	主題6 日本の安全保障と防衛	1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和	a:日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように，現実社会の諸課題に関わる諸資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b:日本国憲法の平和主義をふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。また核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え，軍縮の意義や効果について，さまざまな観点から考察している。 c:日本の安全保障と防衛について，国連憲章や日米安全保障条約，平和主義を掲げる日本国憲法の下，現代の諸課題の解決に向けて，主体的に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論
	主題7 国際社会の変化と日本の役割	1 今日の国際社会 2 人種･民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	a:国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。また人種・民族問題と地域紛争の実態，難民問題にする資料を，様々な情報手段を用いて収集し，課題の解決に向けて，国際社会では何がおこなわれているか，理解している。 b:変化する国際情勢の中で，日本の安全が世界の平和の維持といかに関連しているか，広い視点に立って理解し，さまざまな観点から考察している。また持続可能な開発(SDGs)にふれながら，国際社会の安定について，国民レベル，国家レベル，国際レベルで何ができるかを，様々な観点から考察し，論拠をもって表現している。 c:国際社会の変化と日本の役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論
	主題8 雇用と労働問題	1 私たちと経済 2 労働者の権利と労働問題	a:仕事と生活との調和という観点から，雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:雇用と労働問題について，日本的雇用慣行の崩れなど，現代の諸課題を主体的に考察，構想し，論拠をもって表現している。また近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について，具体例をあげて多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。 c:雇用と労働問題について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論

※令和４年度以降入学生用

2学期	主題９　社会の変化と職業観	1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから	a:社会の変化と職業観について，人工知能の進化の影響など，現代の諸課題を理解している。 b:技術革新の進展による生活の変化，産業構造の変化，経済のサービス化・ソフト化について，身近な問題と関連させて考察，構想し，論拠をもって表現している。また企業の役割や種類から，株式会社のしくみや企業の社会的責任について考察，構想し，論拠をもって表現している。そして農林水産業の現状と今後について，さまざまな情報を基に考察，構想し，論拠をもって表現している。 c:社会の変化と職業観について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価
	主題１０　市場経済の機能と限界	1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉	a:経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解している。また市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:価格の変化が，消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか，さまざまな観点から多面的・多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。また市場機能の限界に対する公共財の供給について，政府の役割を多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。そして外部不経済の典型例である公害について理解し，公害を防止し環境を保全するための方策について考察，構想し，論拠をもって表現している。 c:市場経済の機能と限界について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価
	主題１１　金融のはたらき	1 金融の意義や役割	a:金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。また資金の流れ，金融機関の役割，日本銀行の役割について理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:金融のはたらきについて，現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価

※令和４年度以降入学生用

3学期	主題１２　財政の役割と社会保障	1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉	a:財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:財政政策の意義，日本の財政の課題を理解し，財政のしくみ，租税の意義と課題について，具体的に事例をあげて考察，構想し，主体的に考えている。また社会保障の意義を理解し，現在の社会保障の課題について考察している。そして社会保障制度の充実・安定化に関し，各国の租税負担など財政状況を比較しながら，日本の社会保障制度の諸課題を多面的・多角的に考察，構想，表現している。 c:財政の役割と社会保障について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 小テスト 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価
	主題１３　経済のグローバル化	1 国際分業と国際貿易体制 2 国際収支と為替相場 3 経済のグローバル化と日本 4 地域的経済統合の動き 5 国際社会における貧困や格差 6 地球環境問題 7 資源･エネルギー問題 8 国際社会のこれから	a:経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。またグローバル化の進展により，貧困や格差の問題，地球環境問題などの解決が，地球的な課題となっていることを理解している。国際経済問題の解決には，国家や国際機構などの多様な組織による協力が重要であることを理解している。そして国際社会における貧困や格差が解消されていない現状について，国際機構の役割や政府開発援助の意義が大きいことを理解している。 b:貿易の意義，円高・円安が生じる理由，貿易摩擦などについて，考察，構想し，表現している。地球環境問題が国際的な問題になっていることや，その解決に向けての取り組みを考察，構想し，表現している。 c:国際協力のあり方，国際協調の重要性から，日本の役割について自分自身の問題として，主体的に解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論 小テスト 定期考査	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論

※令和４年度以降入学生用

3学期	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	①地球環境問題～排出量取引を考える ②資源・エネルギー問題～ベストミックスを考える ③生命倫理～ゲノム編集を考える ④情報～インターネットによる投票を考える ⑤国際社会の課題～フェアトレードを考える	a:地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命倫理，情報，国際社会の課題に関して，これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 b:地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。また課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述している。そして現代の諸課題を，「第1編　公共の扉」で学んだことを基に，幸福，正義，公正や公共的な空間における基本的原理を用いて，考察，構想し，論拠をもって表現している。 c:現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト	提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論 小テスト	レポート提出 提出課題 授業態度 発問評価 ミニ討論

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度